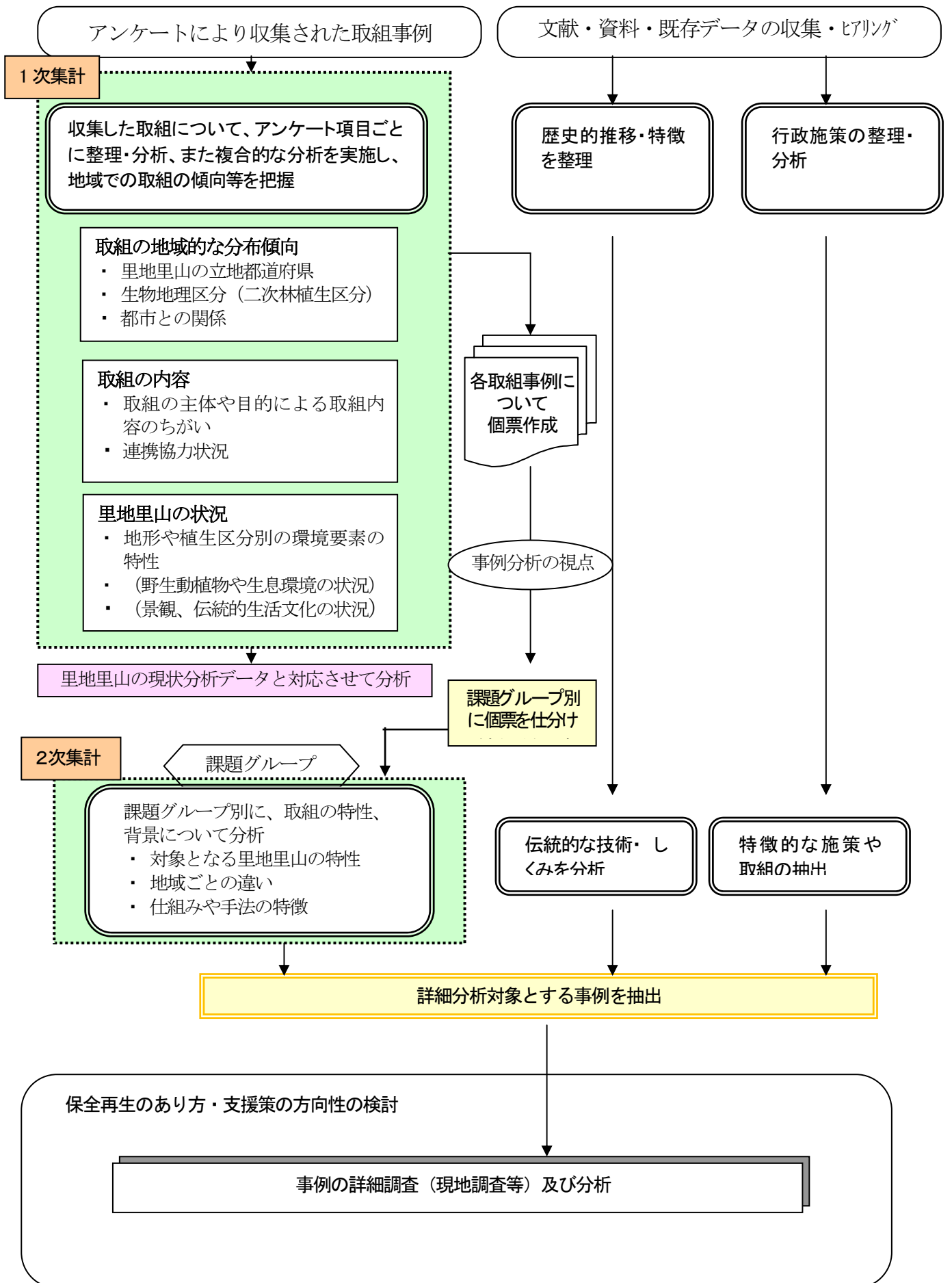


アンケート結果・収集データの分析及び事例調査の進め方



(2) 取組事例を分析する視点 (問題意識)

里地里山の自然環境の保全再生を検討していくために、現在地域で行われている取組を分析し、抱える課題への対応を考える上で、参考になる事例を以下のような視点で抽出し、分析する。

1 分析の目的

・ 里地里山が抱える、複合的に関連した以下の課題について、各地の取組の分析を通じて、これら課題に対応するための有効な手法やしぐみを抽出し、全国で共有化し取組の効率化・展開に資する。

- (1) 里地里山の野生動植物の保全・再生
- (2) 農林業の振興
- (3) 良好な景観の保全
- (4) 伝統的な生活文化の継承

視点に沿った取組の例 (既存資料より想定)

里地里山保全再生モデル事業
日本の里地里山30
田園自然再生活動コンクール ほかにによる

2 必要な施策 (課題) とこれに向けた分析の視点

目的からみた課題

①農林業を軸にした自然資源の持続的な管理・利用
(生産品の経済的価値の向上・創出)

- 間伐材やチップなど新たな利用技術の開発と市場の開拓
- 生物多様性、景観等に配慮した農林業の促進 (産品の高付加価値化)
- 里地里山イメージを活用した地域ブランド化、オーナー制などによる里地里山産品の販売力強化

②里地里山がもつ多面的価値の保全と発揮

- 野生動植物やその生息地の保全・管理 (価値認識、手法確立等)
- 地域の良好な景観の保全、伝統的な生活文化の智慧や技術の継承

③社会的な認識の向上・次世代の教育の推進
(環境教育、自然体験、エコツーリズムの場としての利用)

- プログラム開発と指導者の養成
- プログラムを運営・維持する体制づくり (参加者募集、財源、ボランティアとの連携等)
- フィールドを確保し、維持管理する体制の整備

進め方からみた課題

④自然資源の管理・利用への多様な主体の参加促進

- 伝統的な地域コミュニティによる取組の促進 (担い手確保等)
- 地元と外部の協力・連携による取組の促進 (仕組みづくり、コーディネーター育成等)

⑤資源管理・利用手法の再評価と新たな活用

- 伝統的な里山管理手法の再評価 (持続可能な資源利用の観点)
- 現代の里地里山に適用可能な持続可能な資源管理手法の確立 (省力化・効率化等)

・米酢原料米を有機農法の棚田で栽培し地元醸造業者と契約【京都府宮津市】

・棚田米を地域ブランド化、オーナー制なども活用し販売【岡山県久米南町】

・地域住民主体でアベサンショウウオの調査・保全活動【福井県越前市】

・ヒョウモントキ生息地地権者と覚書を交換、住民参加で保全活動【広島県世羅台地】
・地権者と地元高校が協働してトウキョウサンショウウオ産卵環境を保全【千葉県一の宮町】

・笹葺き民家再生などを通じた里山管理【京都府宮津市】

・住民が里山公園の維持管理に参加、公園を活用し総合学習を実施【熊本県水川町】

・多様な目的の主体が連携組織を設立【福井県越前市】

・企業と地元ニーズをマッチさせる仕組みを整備【京都府モデルフォレスト事業】

・多様な農業体験・里山体験のプログラムを整備、Iターン促進【京都府綾部市】

・里山ボランティアを募集し養成研修、参加しやすさを工夫【神奈川県秦野市】

・地元農家の指導で炭焼き・薪の生産、販売を復活【大阪府河南町】

・里山放置林を整備、クヌギの炭を焼き、菊炭(お茶炭)など販売【兵庫県川西市】